

物販の前進で勝利かちとれ

全国の労働者は闘いを求め、動労千葉に期待している！

日刊
動労千葉

87. 7. 20

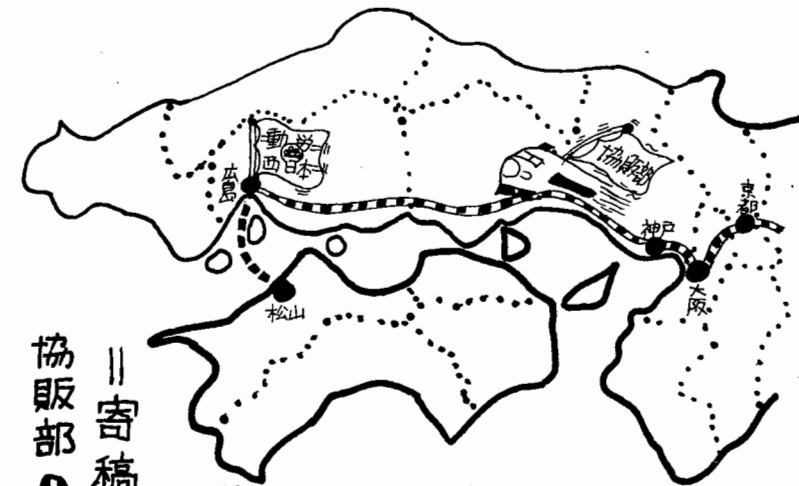
No. 2606

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

関西編

物販オルグ奮戦記

87年五月、夏季物販運動は開始された。今夏の目標は昨年と同様だ。一カ月半の県外物販オルグも終了し、いま、協販部は注文品の発送に追われています。協販部員は、かつてない感動をあじわったことなど全国をまわったの感想を思い語っています。この紙面では、関西方面の物販運動を紹介します。



動労西日本の決起が情勢を大きく動かしている。さらに物販運動を拡大しよう！！

「動労千葉が来てくれた」

広島では、山口県境の町へ飛び、ここにも真に動労千葉を支える地域の運動があったことに感動した。
自治労の職場では、「動労千葉がよくここまで来てくれた」と大喜び。さっそく午後半休をとって各組合を案内してくれた。物販担当者は、動労千葉の運動の広がりを膚で感じつつ帰路についた。

物販の協力は動労千葉への期待

感動した物販運動

関西地域は、大阪をかわきりに京都、兵庫、広島、松山の二週間の日程であった。

大阪を中心に可能なかぎり国鉄職場を訪問した。分割・民営化攻撃の嵐の中で多くの国鉄労働者が職場を追われた。しかし、六月七日の動労西日本結成で関西の国鉄労働者は闘いへの決起を期待し、動労千葉の物販運動への熱い協力を寄せている。

また、神戸の全金の仲間は、「分割・民営化で国鉄の工場の労働者を支援した。しかし、国鉄労働者はこれだけ痛めつけられているのにどうして闘えないのか。残念だ。原点を守って闘う動労千葉がんばってくれ」と激励してくれた。

全国では争議をかかえている組合が多くあった。また、鉄鋼や造船の不況の中でレイオフを受けている組合、夏季手当が決まらず生活不安で苦闘している労働者が多くいた。しかし、動労千葉の物販に協力している。それはなぜなのか。
中曽根の反動が進み、日本労働運動の雪崩うつ産報化の中で、全国の労働者は闘いを求めている。だから動労千葉の闘いに心底から期待を寄せ、物販の協力という形で連帯をしてくれているのだ。

財政基盤の確立の柱として物販の目標を絶対達成し、動労総連合、国労共闘をはじめ、全国の闘う仲間と共にストによる実力闘争で分割・民営化粉碎、中曽根打倒をかちとろうではありませんか。
協販部は、すべての組合員の先頭で闘うことを決意します。